



FUJI OIL GROUP 2020

私たち不二製油グループは、食の素材の可能性を追求し、食の喜びと健康に貢献します。

第92期 中間株主通信

2019.4.1～2019.9.30

「Towards a Further Leap 2020」の結びに向けて、グループシナジーの創出に注力

この度の台風第15号・第19号により被災されました方々に、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第92期中間株主通信をお届けいたしますので、ご高覧いただけましたら幸いです。

株主の皆様には、今後とも当社グループの事業にご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 清水 洋史

不二製油グループ本社株式会社

Pick Up



新感覚！大豆から生まれた「未来の食事」
大丸心齋橋店に
「UPGRADE Plant based kitchen」がオープン！！



大豆で世界が変わる — 目指せ、わたしのアップグレード。

9月下旬に改装オープンした大丸心齋橋店 本館地下2階フードホールに、「UPGRADE Plant based kitchen」を出店いたしました。

世界初の特許製法であるUSS製法でつくられた新豆乳素材や、今注目を集める大豆ミートを使用したハンバーグや唐揚げ、ラザニア、サラダ、デザートなど幅広いメニューをご用意しています。ぜひ一度、ご来店ください。

店舗情報

UPGRADE Plant based kitchen

大阪市中央区心齋橋筋1丁目7-1
大丸心齋橋店 本館地下2階 フードホール
営業時間/10:00～23:00 L.O. 22:00
<https://www.upg-pbk.com>



FUJI OIL NEWS

2019

4月

5月

6月

7月

8月

9月

当社の取り組みが評価され、株式会社日本政策投資銀行(DBJ)より、「DBJ環境格付」融資で最高ランクの格付を取得

「DBJ環境格付」融資は、格付システムにより企業の環境経営度を評点化、得点に応じて融資条件を設定するという世界初の融資メニューで、以下の点を高く評価いただき、「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という最高ランクの格付を取得しました。

当社は本件融資により、ESG経営の推進を一層強化し、SDGs達成に向けたソリューションを提供し続けることで、さらなる企業価値の向上を目指してまいります。



C-ESG Officer 山田 隆司



- ESG委員会やC-ESG〇〇の設置等を通じ、トップマネジメント以下、経営戦略と紐づく高度なサステナビリティへの取り組みを全社的に推進している点
- パーム油をはじめ原料調達に際して、環境・人権への特に優れた配慮を行うと同時に、調達先との間で対話や改善指導を図るなど、持続可能なサプライチェーン構築に向けた取り組みを先駆的な水準で図っている点
- 経営目標として「食の創造によるソリューション」を掲げ、植物性原料等を通じた社会課題の解決に資するイノベーションを生み出すことを目指し、長期的な視点から研究開発を進めている点

「Plant-based Cheese Alternatives」コンソーシアムに参画

当社グループは、植物性タンパク質を利用したチーズ代替品をすでに商品化しておりますが、さらなるイノベーションのため、食品と健康における受託研究の世界的大手企業NIZO、オランダのHAS応用科学大学、欧州大手乳業メーカーRoyal Bel Leerdammerおよびカナダの植物性食品メーカーDaiya Foodsと協力し、コンソーシアム(共同事業体)に参画いたします。

参画パートナーは次世代の植物ベースのチーズ代替品の開発を目指し、消費者に食の楽しさを感じられる栄養価と風味が改善された新製品を提供することで、「Protein Transition」(タンパク質革命)に貢献してまいります。

TCFDの提言に賛同、コンソーシアムへも参画



当社グループは、「環境ビジョン2030」に基づき、気候変動への適応・緩和策に取り組んでおり、この度、企業の効果的な情報開示や、適切な投資判断に繋げるための取り組みについて議論する場として金融安定理事会が設置した「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD: Task Force on Climate-related Financial Disclosures)」のコンソーシアムへの参画を決定いたしました。

機能性高付加価値事業の推進のため、Fuji Brandenburg GmbHを設立

当社グループは、中期経営計画において機能性高付加価値事業の推進をミッションに掲げています。



Fuji Brandenburg GmbHは欧米市場向けの機能性事業「水溶性えんどう多糖類」の生産拠点としてドイツに設立いたしました。グループ内協力体制のもと日本での水溶性大豆多糖類などの知見を活かし、えんどう多糖類を事業領域に加えることで、機能性事業の拡大を図ります。

第7回アフリカ開発会議(TICAD7)サイドイベントに参加

当社グループは、植物性原料が持つ無限の力を最大限に引き出し、おいしくお届けすることで、人と地球の健康を実現したいと考え、成長が期待されるアフリカへの大豆たん白を用いた貢献を目指しています。現在アフリカで主に飼料用に増産傾向にある大豆について、食用としての可能性を示すため、社長の清水による講演も含めた3つのイベントにて、大豆たん白の健康・環境面での優位性やアフリカ市場での当社のビジョンをご紹介いたしました。



全体概況について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資や個人消費により内需が底堅く、緩やかな景気回復が持続しております。米国は良好な雇用・金融環境により個人消費は下支えされておりますが、外需減による製造業の低迷、米中貿易摩擦を受けて成長ペースは減速しております。中国は内需の回復の遅れや米中貿易摩擦が引き続き経済の重石となるものの、政策による下支えで景気は底入れに向かっております。欧州は外需減が重石となっているものの、底堅い個人消費により、景気は緩やかに回復に向かっております。この様な状況の中、当社グループは、世界的な人口増加、健康志向の拡大、高齢化への対応といっ

Top Message トップメッセージ

た社会が直面する課題を植物素材を用いた食の力で解決する「Plant-Based Food Solutions」を掲げ、ESGに基づいた経営を推進しております。4カ年の中期経営計画「Towards a Further Leap 2020」の3年目として、最終年度における総仕上げの準備期間として、「コアコンピタンスの強化」「大豆事業の成長」「機能性高付加価値事業の展開」「コストダウンとグローバルスタンダードへの統一」を主軸とした成長戦略を推進し、引き続き、大きく変化する市場を捉え、成長する市場・強みを発揮できる市場に展開してまいりました。以上の結果、当第2四半期連結累計期間においては、売上高は1,915億85百万円(前年同期比30.2%増)、営業利益は90億50百万円(前年同期比4.5%減)、経常利益は82億52百万円(前年同期

比13.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は59億79百万円(前年同期比36.3%増)となりました。

セグメント別の状況について

植物性油脂事業では、採算重視により減収も、前期の米州における寒波での操業停止の反動や採算重視による効率性改善で増益となりました。以上の結果、当事業の売上高は486億5百万円(前年同期比8.1%減)、営業利益は44億25百万円(前年同期比27.6%増)となりました。業務用チョコレート事業では、アイス用チョコレート等の国内販売が減少も、米国Blommerの子会社化で大幅増収となりました。利益面は、ブラジル

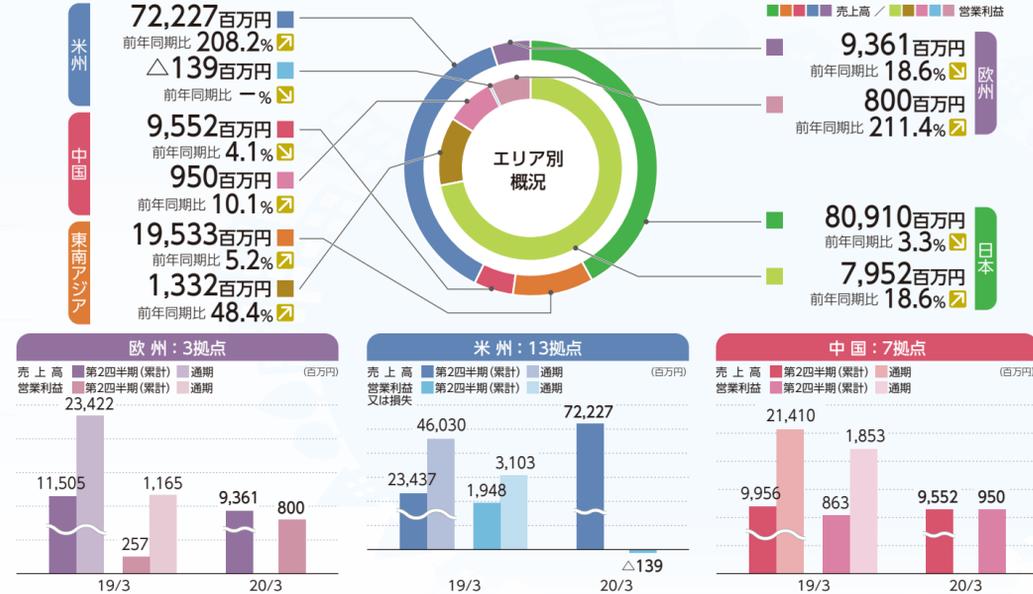
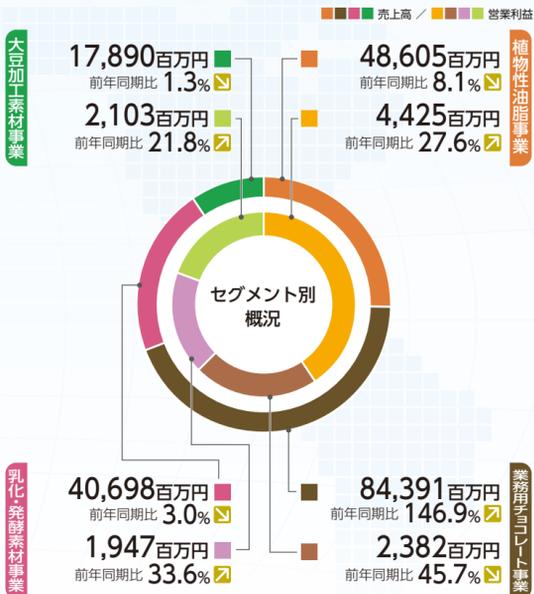
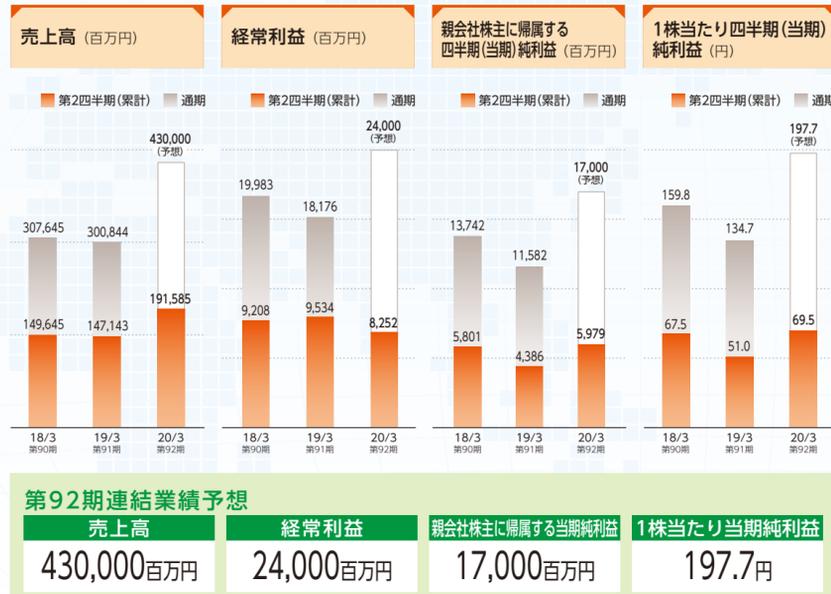
における前年同期好調の反動やBlommer子会社化時の先物評価益の振り戻しで減益となりました。以上の結果、当事業の売上高は843億91百万円(前年同期比146.9%増)、営業利益は23億82百万円(前年同期比45.7%減)となりました。

乳化・発酵素材事業では、調製品の国内販売が伸び悩み減収も、国内において主にクリーム製品の販売好調とマーガリン製品の採算改善で増益となりました。以上の結果、当事業の売上高は406億98百万円(前年同期比3.0%減)、営業利益は19億47百万円(前年同期比33.6%増)となりました。大豆加工素材事業では、前期の中国子会社売却の影響で減収も、国内・中国における大豆たん白食品の販売好調で増益となりました。以上の結果、当事業の売上高は178億90百万円(前年同期比1.3%減)、営業利益は21億3百万円(前年同期比21.8%増)となりました。

通期見通しについて

グループ一体となった経営を推進するため、在外連結子会社19社の決算期を変更したことにより、当期は当該子会社が15ヵ月決算となること及び下期見通しを勘案し、2020年3月期の通期業績については、期初予想を修正し、売上高4,300億円、営業利益255億円、経常利益240億円、親会社株主に帰属する当期純利益170億円と見込んでおります。これにともない、配当については、今中間は1株当たり27円、期末配当は期初予想から2円増配した29円とし、年間56円とさせていただきます。引き続き、人のため世のため、お困りごとを解決できる企業を目指してまいりますので、当社グループの事業に変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

Consolidated Financial Highlights



連結財務ハイライト



(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。また、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの変更を行っており、第91期の数値に関しては、変更後の算定方法および変更後のセグメント区分にて組み替えた数値で比較しております。

Corporate Profile & Stock Information 会社&株式情報

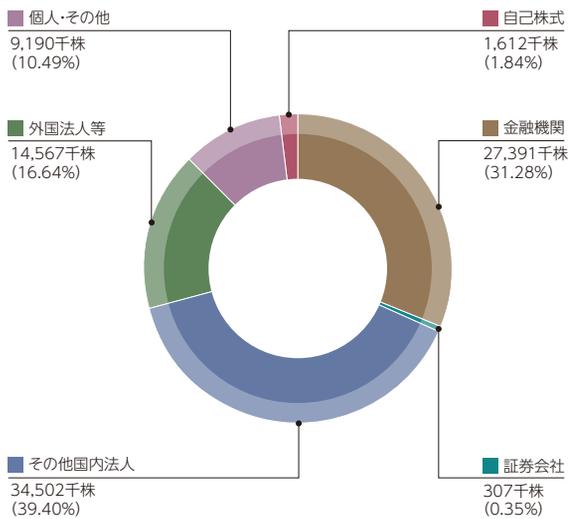
会社概要 (2019年9月30日現在)

設立	1950年(昭和25年)10月
資本金	13,208百万円
全グループ従業員数	6,040名
不二製油グループ本社従業員数	152名

役員 (2019年9月30日現在)

代表取締役社長	清水洋史
取締役上席執行役員	清酒井幹夫
取締役上席執行役員	松本智樹
取締役上席執行役員	大森達司
取締役上席執行役員	角谷武彦
取締役上席執行役員	門田隆司
取締役上席執行役員	木田晴康
社外取締役	三品和広
社外取締役	上野祐子
社外取締役	西秀訓
常勤監査役	隈部博史
常勤監査役	澁谷信一
社外監査役	草尾光隆
社外監査役	魚住隆太

所有者別株式分布状況 (2019年9月30日現在)



※千株未満切捨

株式に関するご案内

下記当社Webサイトをご覧ください。
<https://www.fujioilholdings.com/ir/stock/>



株主様への還元について

株主優待

1. 対象となる株主様

毎年3月31日現在の当社株式100株以上ご所有の株主様

2. 優待品発送時期

毎年11月上旬頃

3. 優待品保管期限

転居や不在により、お受け取りいただけなかった優待品は、**1月末日まで**当社で保管しております。再発送のご依頼は、お早めに下記当社株主優待お問い合わせ窓口へ、お申し出ください。なお、保管期限経過後は再発送のご対応はいたしかねますので、ご了承ください。

4. お問い合わせ先

当社株主優待お問い合わせ窓口
フリーダイヤル 0120-651-563
 受付時間 10:00~17:00(土曜・日曜・祝祭日を除く)

5. 優待品内容

ご所有株式数に応じて、以下の優待品を**毎年11月上旬頃**にお届けいたします。

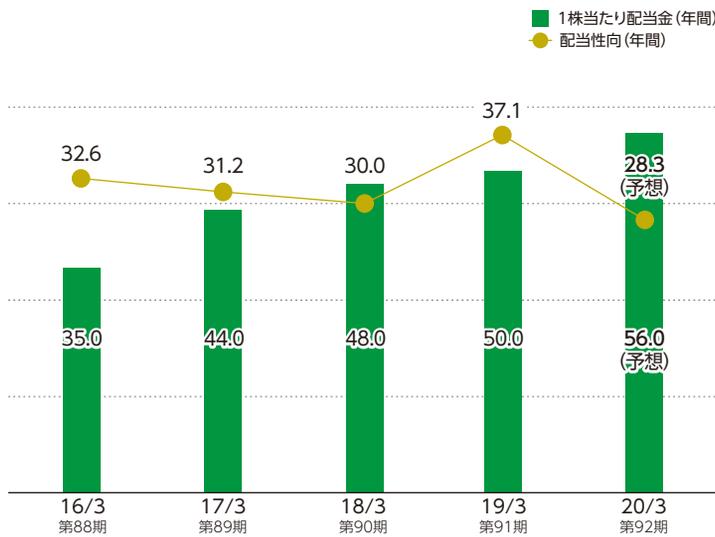
ご所有株式数	優待品	4,000円相当
100株以上	不二製油グループ製品詰合せ	1,500円相当
1,000株以上	不二製油グループ製品詰合せ	3,000円相当
5,000株以上	不二製油グループ製品詰合せ	4,000円相当



4,000円相当 内容例

配当

1株当たり配当金(円) / 配当性向(%)



当社は株主の皆様への利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しております。株主配当につきましては配当性向30%~40%の方針とし、安定的かつ継続的な配当を実施してまいります。また、自己株式の取得も機動的に検討いたします。なお、2020年3月期に関しては、在外連結子会社19社の決算期変更による業績影響を勘案し、1株当たり配当金を期初予想から2円増配予定であります。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2mediaについての詳細 <https://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」 TEL:03-6779-9487(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

<https://www.e-kabunushi.com>
 アクセスコード 2607

いいかぶ 検索

空メールにより URL自動返信 kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を贈呈させていただきます (1809)